

弘前れんが倉庫美術館



弘前れんが倉庫美術館 スクールプログラム

ひろふ動物園が 弘前れんが倉庫美術館にやってきました！

会 場 | 弘前れんが倉庫美術館 市民ギャラリー他
会 期 | 2021年2月11日(木・祝)～2月14日(日)
開館時間 | 9:00 - 17:00 (入場は16:30まで)
観 覧 料 | 無料

弘前大学教育学部附属中学校の美術授業題材「ひろふ動物園」シリーズを
作品とともに簡単な学習活動と併せて紹介展示します。

※夜間開館日2月12日(金)、2月13日(土)は21:00まで開館

同時開催中の展覧会 | 「小沢剛展 オールリターン 一百年たったら帰っておいで 百年たてばその意味わかる」

会期：2020年10月10日(土)～2021年3月21日(日)

観覧料：一般1,300円、高校生以下無料

※「小沢剛展 オールリターン 一百年たったら帰っておいで 百年たてばその意味わかる」を
ご覧になる場合は観覧料が必要です

主催 | 弘前れんが倉庫美術館



弘前れんが倉庫美術館 スクールプログラム

ひろふ動物園が 弘前れんが倉庫美術館にやってきた!



この企画は当館のスクールプログラムとして、弘前大学教育学部附属中学校の美術の授業で平成 27 年から続けている授業題材「ひろふ動物園」シリーズを作品とともに簡単な学習活動と併せて展示します。「ひろふ」とは学校名の頭文字からとった名前です。この題材では組ねぶたを形作る針金の技法を参考にして、生徒が 4~5 名のチームになって動物の立体造形を制作します。地域と関わりのある技法を用いながら、共同による制作過程を経て出来上がった作品はどれも生徒たちのクリエイティビティが発揮されています。毎年少しずつテーマを変えつつ実施されており、今年は「動物と眼が合う」ことをテーマにして作られました。しかし今年度で「ひろふ動物園」は一旦幕を閉じるとのこと。最後の「ひろふ動物園」、生徒たちの力作をぜひ弘前れんが倉庫美術館でご覧ください。



写真提供：弘前大学教育学部附属中学校

会場 | 弘前れんが倉庫美術館 市民ギャラリー他
会期 | 2021年2月11日(木・祝)~2月14日(日)
開館時間 | 9:00-17:00 (入場は16:30まで)
観覧料 | 無料
関連イベント | ライブラリーで座談会
2021年2月11日(木・祝) 11:00-12:00
会場: ライブラリー 参加無料

「ひろふ動物園」の授業を行っている中学校美術科教員・蒔苗靖子先生を交えて座談会を開きます。新型コロナウイルス感染症の影響で中止になる場合もありますので、ご参加の際は事前に当館までお問い合わせください。



この授業を行った先生 |

蒔苗 靖子 (まかなえ やすこ) 先生

弘前市出身、弘前大学教育学部美術科卒業(岩井康頼氏に師事)。千葉大学大学院教育学研究科美術教育専攻課程修了(若桑みどり氏に師事)。2013年より弘前大学教育学部附属中学校に勤務。「なぜ美術を学ぶのか」という問いに対し、生涯にわたって自分なりの色や形に答えを見つけること、そして日本の美術に誇りをもって世界で語ることができる生徒の育成を目指し、美術の授業に毎日テンション高く取り組んでいる。

学校団体受付のご案内 |

当館では学校団体での観覧も受け付けております。申込みは来館の1ヶ月前までをお願い致します。申込書は当館ウェブサイト「団体観覧申込」からダウンロード可能です。

必要事項を記入の上、FAXまたはメールでお送りください。詳しくは下記お問い合わせまでご連絡ください。

主催・お問い合わせ |

弘前れんが倉庫美術館

〒036-8188 青森県弘前市吉野町 2-1

Tel : 0172-32-8950 (休館日を除く 9:00-17:00)

Mail : info@hirosaki-moca.jp



お車の方は近隣の有料駐車場をご利用ください。

提携駐車場 | 上土手町駐車場・アウトエア弘前・したとでスカイパーク・三井のリパーク弘前桶屋町・三井のリパーク弘前桶屋町第2

*「小沢剛展 オールリターン ー百年たったら帰っただけで 百年たてばその意味わかる」をご覧になる方で提携駐車場をご利用の方は運転手と同乗者1名に限り観覧料が100円引きになります